

広島県の15歳の生徒に身に付けておいてもらいたい力

自己を認識し 自分の人生を選択し 表現することができる力

これからの未来社会は、予測不能な変化の激しい時代です。決まった答えのない問題に対して、様々な人とつながりながら、自ら答えを出すことができる子どもたちを育てるための3つの挑戦を市内小中学校でスタートさせます！

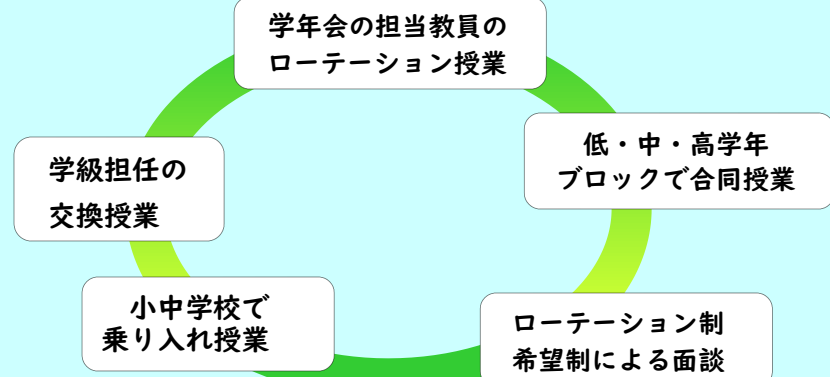
限られた指導者で
最大の指導力を発揮する！

安芸高田型 チーム担任制



- 複数の教員が、学年全体や2つの学年を指導・支援します。
- 教員の強みを生かし、チームで助け合って、全員で子どもたちを支援することで、質の高い教育を行うことができます。

取組例



※「乗り入れ授業」とは、小学校の教員が中学校で授業を行ったり、中学校の教員が小学校で授業を行ったりすることです。



こんないいことがあります！



- ★子どもたちが複数の教員とつながり、相談しやすくなります。
- ★教員の得意分野や専門性を生かした支援によって、学習が充実します。
- ★多くの教員が子どもとかわることで、子どもの良さや困り感を見つけやすくなり、一人一人に合った最適な支援ができます。
- ★育てたい子ども像や目指す授業づくりを共有し、乗り入れ授業を行うことによって、滑らかな接続が可能になり、中一ギャップの解消につながります。



面談相手を自分で選択



学級活動の時間

全ての子どもの可能性を伸ばす 子どものための学校に！

自分たちの学校は
自分たちで創る！

生徒指導規程の見直し



- 子どもたちが、今の自分たちにとって本当に必要な決まりは何なのかなど、子ども自身が「生徒指導規程」を見直し、自分の学校生活をより良くすることをとおして、自ら考え、選択・判断し、行動する力を育てます。
- 教職員が、指導内容や指導方法を見直すことで、組織的な生徒指導体制をつくります。

※「生徒指導規程」とは、子どもたちが安心して充実した学校生活を送るという観点から必要な事項を定めたものです。

取組例

- 子どもが、保護者や教職員とともに、「生徒指導規程」を見直す。
- 教職員が、自己指導能力の育成につながる指導内容、指導方法を共有する。



生徒会による検討会



児童会の子どもたちがPTA会長、校長へ提案

こんないいことがあります！

- ★自ら考え、選び、決める力、自分の伝えたいことを伝える力が育ちます。
- ★自分の学校生活に主体的に関わることができます。
- ★子どもの心に寄り添った、一貫性のある生徒指導ができます。

※「自己指導能力」とは、自分をありのままに認め理解し、自らの目標に向かって考え、行動する力のことです。

一律に出す
家庭学習からの脱却！

家庭学習の充実



- 子どもが、自分に最適な学びを選択し、自分の目標や課題や興味関心に基づいた自主的・自律的な家庭学習を行うことで、自分の学びに責任をもち、自ら考え行動する力を育てます。

取組例

- <小学校低学年・中学年>
- 部分的に自分で内容や方法を選択して家庭学習を行う。
- <小学校高学年・中学校>
- 自分で内容や方法を選択して家庭学習を行う。



自分に合った家庭学習を考える生徒



友達と共に家庭学習の見直しを行う児童

こんないいことがあります！

- ★自ら考え、選び、決める力、自分の伝えたいことを伝える力が育ちます。
- ★得意なことや苦手なことが分かり、自分自身を理解することにつながります。
- ★学ぶ楽しさ、できる喜びを感じ、自己肯定感が高まり、主体的に学び続けることができます。